

# 名勝公園マネジメント計画について

## 1. 名勝公園マネジメント計画策定のプロセス

### ■ マネジメント計画の流れ

保存活用計画の将来像・基本方針整理  
現状の確認・整理

ゾーン別の保存計画

公園全体の活用計画

ゾーン分け  
各ゾーンの「目標」の検討

済

活用事業の適切な運営  
・現状の催事や活用事業の継続及び推進

「保存・活用の方針」等、  
各ゾーンの詳細検討

済

適切な活用方法を提案  
・これから求められる活用事業の検討  
・イベントの企画検討  
・ビューポイントの周知

本日の内容

各ゾーンの具体的な  
維持管理方法について  
シーケンス景観(連続的  
な景観)の観点から評価

活用の実施・ブラッシュアップ  
イベントや施設整備等を実施し、  
適宜改善更新していく

名勝公園マネジメント計画の策定

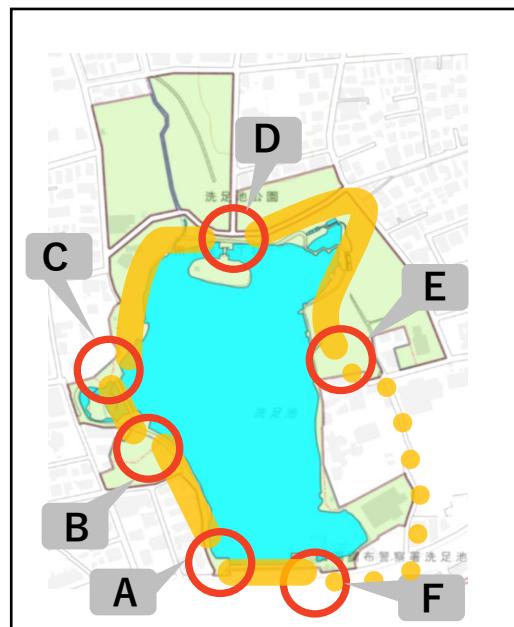
## 2. シーケンス景観間のつなぎ方

前回、シーケンス景観を大まかな  
グループ単位に分けて検討した。  
これらの景観どうしのつなぎ方  
について検討する。

動線 (園内)

動線 (園外)

シーケンス景観の結束点



A



樹勢の衰えた樹木

看板類の整理

休憩スペースの再整備

B



ルート上の分岐点

植栽で空間を  
区切っている

橋詰広場があり、足を  
止めて景観を楽しめる

## 2. シークエンス景観間のつなぎ方

C

橋詰広場があり、足を止めて景観を楽しむ



公園の出入口に近い

隣接するスポットがある



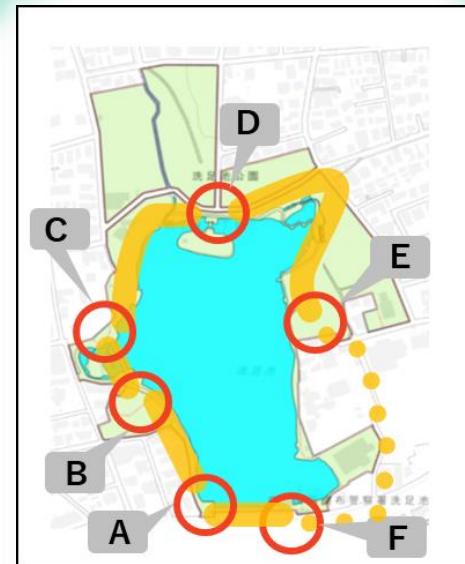
E



勝海舟記念館や駅への方向を示す看板がない



足を止めるスポットがない



橋詰広場があり、足を止めて野鳥観察などを楽しむ

D



ルートに分岐点

隣接するスポットがある



F



歩道幅が狭い箇所がある



公園の表玄関に似合わない駐輪場等の施設がある

### 3. シークエンス景観の中継点の課題、池を周回する動線の整理

	特徴	課題	対策
A	○中原街道から公園への出入り口 ○限られたスペースの中で、スロープを設置	○樹勢のおとろえた樹木 ○休憩スペースの再整備 ○看板類の整理	○樹勢回復、樹木更新による景観の向上 ○ベンチ・スツール等を設置する ○看板や石碑の整理
B	○橋詰広場から池と三連太鼓橋を眺める景観 ○鳥居やメタセコイヤを眺める景観 ○増設地と三連太鼓橋を繋ぐ経路	○橋詰広場が狭く、立ち止まるスペースが小さい ○橋詰広場に休憩できる施設がない ○池の景観を楽しむ場所がない	○橋詰広場を拡大整備する ○橋詰広場にベンチ・スツール等を設置する ○橋詰広場にSNS向けのフォトスポット等、景観を楽しめるコーナーを設置する
C	○橋詰広場から池と三連太鼓橋を眺める景観 ○鳥居やメタセコイヤを眺める景観 ○八幡神社と三連太鼓橋を繋ぐ経路	同上	同上
D	○橋詰広場から野鳥や弁天島を眺める景観 ○桜山・松山と池畔を繋ぐ経路 ○頭上をも覆う緑量を楽しむ景観	○動線が交錯する地点としては狭い ○写真撮影のために待機するスペースが不足している ○護岸・弁天橋が老朽化している	○橋詰広場のスペース拡張 ○護岸・弁天橋の改修に併せた、橋詰広場を創設の検討
E	○石畳から繋がる落ち着いた雰囲気	○視線誘導をする印象的なスポットがない ○勝海舟記念館や駅への方向を示す看板がない ○自転車の駐輪のために管理車両が入れない	○視線誘導をするスポットの整備 ○他施設への方向を示す看板の設置 ○景観を害さない駐輪対策の実施（駐輪場の設置）
F	○歌川広重の絵画などで描かれるような、 街道側から池を眺める景観 ○対岸に松山のシルエットを眺める景観	○既存施設が池の景観を遮っている	○既存施設の改築に併せて、景観の改善を検討する



— 流れる動線  
— 滞留する動線  
○ 立ち止まるスポット

### 4. 全体に共通する課題

◇方向案内をするサインが無い

